



7月号の砧公園に続いて今回は、関東中央病院前よりバスで20分程で着く小田急線の駅…「成城学園前」周辺を歩いてみました。

成城は、かつて砧村という農地や山林であった田園地帯を成城学園の後援会が区画整理を行って分譲し、「理想的郊外住宅地」として開発が進められました。

整然とした碁盤状の街路に銀杏並木や桜並木を造り、住宅地では高い塀を禁じて生垣を推奨してきたため、成城学園による都市設計は、今でも高く評価されています。

駅北口を出て成城学園の校門から続く銀杏並木がプラタナスの並木に変わる交差点を左に曲がって進み、右に曲がるときれいな生垣を発見します。

ここは、(財)労務行政研究所の理事長であった故・猪股猛氏の邸宅を(財)世田谷トラストまちづくりが管理運営している『猪股庭園』です。広大な敷地内には、無料で入る事ができ、アカマツやモミジ、杉苔の生えた美しい日本庭園を見られます。(残念ながら建築家の吉田五十八が設計した数寄屋造りの邸宅内には、現在修復中のため入れません。)



猪股庭園 / 開園日：火・木・土・日
開園時間：10：00～12：00
入園料：無料



喜多見不動 / 写真右側に見えるのが湧き水の滝

さらに先に進むと突き当たりは、『神明の森みつ池』です。

ここは、東京23区では2ヶ所しかないゲンジボタルの生息地ですが、特別保護区となっていて一般公開はされていません。(年4回自然体験教室が開催されています。)

成城は、駅の付近が小高い山の上になっており、近くを流れる野川に向かって崖となっています。

みつ池を右手に丘を下っていくと、左手に『喜多見不動』があります。

明治の初めに、多摩川が大洪水になった時、河原にたどり着いた不動明王を祭っており、一年中涸れる事のない湧き水による滝が夏場は涼を呼んでくれます。



下りてきた坂をまた登り、最初の角を右に曲がると『不動橋』の上に出ます。

小田急線の上に架かるこの橋は、『富士見橋』とあわせて「せたがや百景」に選ばれています。

橋の上からは富士山や遠くの山々が見え、国土交通省が選んだ「関東の富士見百景」にもなっています。



富士見橋 / 橋の上の絶景ポイントには説明の書いてある覗き枠があります